

此処庵 8月30日

宗淵  
親愛なる老師様

困難に遭遇して悩むと、自分の性情の問題点が見えるものです。私は自分の思考と知覚の慣習が、すべてを不明瞭にし、自分の判断、所見をいかに不正確なものにするかと言う事を知りました。私はこのため、更に混乱を招いた事を貴方に謝ります。

医者が初めに、ボブに事情を話した時、私はタイさんが、もし、有罪であるならば、絶対に彼は出て行かなければならないと思いました。しかし同時に私は、努力を尽くして公平であらねばならない事、又いかなる事でも、彼の言う事を信じようと試みなければならぬと思いました。

ボブの不在中、タイさんは彼の個性的才能のすべてを尽くして、それは非常に強力なものなのですが、それらの話は、真実ではないと説得しました。そして私は説得されてしまったのです。しかし、時間が経つにつれ、すべてが変わり、タイさんが此処庵を出て行ったときの、私に対する彼の言動、又、彼のボブに接する時の、不思議な恐怖を目撃して、私の考えも大きく変わりました。

ドクターミスの手紙が届いて、この話は事実には間違いないと合点がゆきました。それと同時に、私の感情の強烈さが、事実を明白に見る力を不可能にしたと言う事を悟りました。私は私自身の苦しい恐怖と希望、辛い自己疑問、誠実性に関する混乱のため、盲目になっていたのです。当然私は、知性的には、感情が見る目を曇らせる事は知っていました。今、私はこれを我が身において、苦痛と共に経験したのです。今こそ私には理解出来るのです。

私は、ボブに宛て書いた手紙の事を思い出しているのですが、是等の手紙を破棄して頂ければ、有り難く思います。— なぜならば、これは個人的なものであり、とりわけ、私の意見は完全に変わったからです。私はそこに書かれているようには、今では、信じていないのです。

私達は何度も貴方に迷惑をかけました。老師様、この事を私達は本当に済まなく思っております。しかし、このような問題は、実は、私達の人間的性質によるものだと思います。何時も、あなたの援助を感謝しております。